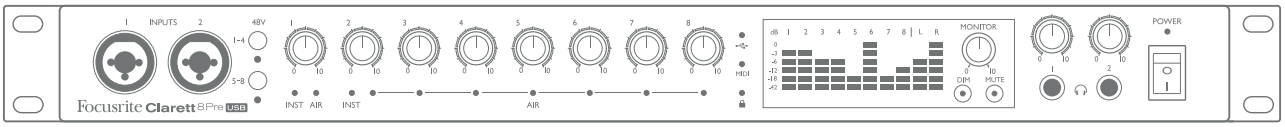
Clarett 8Pre USB

ユーザーガイド



Focusrite®

www.focusrite.com

バージョン 1.0

目次

概要 3
はじめに 3
特徴 4
同梱物 5
システム要件 5
さあ、 始めましょう 6
ソフトウェアのインストール 6
各部の名称と特徴 7
フロントパネル 7
リアパネル 9
Clarett 8Pre USB を接続する 10
コンピュータのオーディオセットアップ 10
DAW でのオーディオのセットアップ 10
Clarett 8Pre USB をラウドスピーカーに接続する 11
使用例 13
1. バンドのレコーディング 13
2. オプティカル接続の使用 15
3. スタンドアローンのミキサーとしての使用 16
4. レコーディング中にフォールドバックを行う 17
FOCUSRITE CONTROL - 概要 18
Clarett 8Pre USB 技術仕様 19
性能仕様 19
物理的特性と電気的特性 20
トラブルシューティング 21
著作権表示と法定通知 21

概要

警告：イヤフォンやヘッドフォンからの音圧レベルが高すぎると、聴力障害を引き起こす恐れがあります。

警告：本機器は USB タイプ 2.0、3.0、3.1 ポート、または Thunderbolt™ 3 ポートにのみ対応しています。コンピュータのシリアルポートの互換性に関する詳細は次の URL を参照してください：

https://support.focusrite.com/hc/en-gb/articles/115002287829-USB-port-clarification-and-compatibility

はじめに

Focusrite Clarett 8Pre USB をご購入いただきありがとうございます。Clarett 8Pre USB はプロフェッショナル用 USB オーディオインターフェースのシリーズの 1 つであり、独自の'AIR' 機能を備えた新設計の高品質 Clarett アナログプリアンプを搭載しています。Focusrite Control アプリケーションと組み合わせて使用することで、コンピュータレコーディングシステムとの間で高品質のオーディオを超低レイテンシーでルーティングすることができ、多目的かつプロフェッショナルなニーズに答えます。

また、Clarett 8Pre USB をステージ上でスタンドアローンのインターフェースとして使用することで、Focusrite が誇る高品質アナログマイクロフォンプリアンプによるサウンドをライブパフォーマンスで活かすことができます。

本ユーザーガイドでは、本製品の操作上の機能を十分理解していただくために、本体について詳しく説明しています。Clarett 8Pre USB が持つ全ての可能性を把握していただくために、コンピュータベースのレコーディングが初めての方や既に経験豊富な方を問わず、あらゆる方に本ガイドを最後までよく読んでいただくことを推奨します。

重要：本ユーザーガイドに加え、Focusrite Control ソフトウェアガイドを読んでいただくことを推奨します。ソフトウェアガイドは、http://www.focusrite.com/downloads よりダウンロードが可能です。これには、Focusrite Clarett USB インタフェースで使用するために特別に設計されたソフトウェアアプリケーション Focusrite Control の詳細が記載されています。

いずれのガイドにも必要な情報が見つからない場合は必ず www.focusrite.com/answerbase を参照してください。一般的なテクニカルサポートの問い合わせに対する回答が総合的に紹介されています。また、「Getting Started」ビデオチュートリアルは次の URL より視聴できます：www.focusrite.com/get-started/clarett-8PreUSB

特徴

Clarett 8Pre USB ハードウェアインターフェースでは、コンピュータの USB ポートを使用することで、マイク、楽器、ラインレベルのオーディオ信号およびデジタルオーディオ信号をコンピュータに接続することができます。入力部に接続された信号は、オーディオレコーディングソフトウェア/デジタルオーディオワークステーション（本ユーザーガイド全体で「DAW」と称します）にルーティングすることが可能です。同様に、DAW からの出力を本体の出力部に送るように設定することができます。

マイク、楽器などのオーディオソースを DAW に録音し、アンプやスピーカー、パワードモニター、ヘッドフォン、ミキサー、その他のアナログやデジタルオーディオ機器を使用して再生することができます。

Clarett 8Pre USB は MIDI インターフェースとしても機能するため、コンピュータをスタジオ内の他の MIDI 機器に接続することができます。

Clarett 8Pre USB の重要な特徴として、アナログプリアンプの設計が挙げられます。クラス最高のダイナミックレンジと、必要とされる全てのゲインを供給する機能に加えて、エキサイティングな新しい'AIR'機能が回路内に含まれています。各チャンネルで個別に選択可能な'AIR'は、プリアンプの周波数特性をわずかに変更することで、Focusrite の伝統的なトランスフォーマーベースの ISA マイクプリアンプのインピーダンスとレゾナンスをエミュレートします。クオリティの高いマイクで録音を行った際には、ボーカルや多くのアコースティック楽器にとって最も必要とされる、中高域の周波数の明瞭さと鮮明度がより向上されます。

付属のソフトウェアアプリケーション **Focusrite Control** は、ユーザーの操作を最小限に抑えるように設計されているため、最も一般的なレコーディングタスクに適した信号ルーティングで Clarett 8Pre USB を簡単に設定できます。より複雑なシチュエーションで使用する場合には、詳細なルーティングおよびモニタリングオプション、サンプルレートや同期などの一般的なハードウェア設定を制御することができます。Focusrite Control は以下の URL からダウンロードできます：
http://uk.focusrite.com/downloads

iPad および iPhone のユーザーの方は、さらに **Focusrite iOS Control** を App Store® よりダウンロードできます。本アプリはコンピュータ上で実行されている Focusrite Control と Wi-Fi 経由で通信することで、iOS デバイスからモニターミックスを調整することができます。詳細は、https://support.focusrite.com/hc/en-gb/articles/212028389-Focusrite-iOS-Control-Basic-setup を参照してください。

同梱物

Clarett 8Pre USB には以下が付属します：

- IEC コネクタ付属 AC 電源ケーブル
- USB-C to USB-A ケーブル
- USB-C to USB-C ケーブル
- 次のオンラインリソースにアクセスするためのコードを含む「Important Information」：
  - Focusrite Control*
  - Windows 用ドライバ*
    （Clarett 8Pre USB は Mac に対してクラスコンプライアントであるためドライバは不要です）
  - 2GB の Loopmasters サンプル音源集
  - Focusrite Red 2 および Red 3 Plug-In Suite
  - Softube Time & Tone プラグインバンドル
  - XLN Audio Addictive Keys の任意のソフトウェアインストゥルメント
  - Ableton Live Lite レコーディングソフトウェア

*これらのソフトウェアアイテムには次の URL より直接アクセスが可能です：www.focusrite.com/downloads

システム要件

重要 – 全ての Clarett 製品に対するコンピュータおよび

オペレーティングシステムの互換性について最新の情報は次のリンクにアクセスしてください：

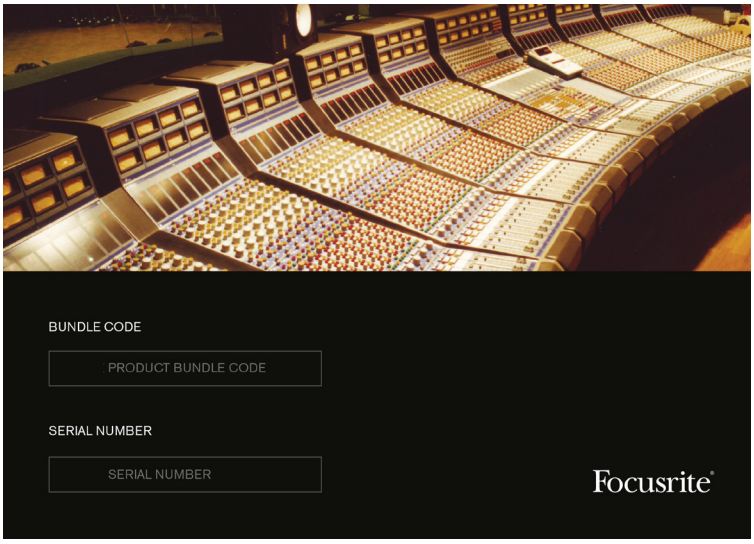
www.focusrite.com/clarettUSB/compatibility

さあ、始めましょう

重要 - Windows ユーザーの方：インターフェースをコンピュータに接続する前に、必ず Clarett 8Pre USB のドライバをインストールしてください。

ソフトウェアのインストール

Clarett 8Pre USB が必要とする全てのソフトウェアには強力かつ便利な追加機能が含まれており、Focusrite ウェブサイト（www.focusrite.com/register）よりダウンロードが可能です。Clarett 8Pre USB に付属する「Important Information」には、上記のウェブアドレスで入力する必要のある認証コードが含まれます。この手順を踏んでいただくことで、最新のソフトウェアバージョンが確実にインストールされます。



1. www.focusrite.com/register/ にアクセスします。

2. 画面上の指示に従って、バンドルコードを入力します。
   バンドルコードは、本体に同梱されている「Important Information」に記載されています。

3. すると「My Product」ページにアクセスできるようになるので、こちらで登録した製品のソフトウェア製品をダウンロードが可能です。また製品には、必要に応じてアクティベーションコードが含まれています。

Windows ユーザーの方のみ：

4. Focusrite Control をダウンロードしてインストールしてください。これには Clarett 8Pre USB に必要な Windows USB ドライバが含まれます。画面上の全ての指示に従います。

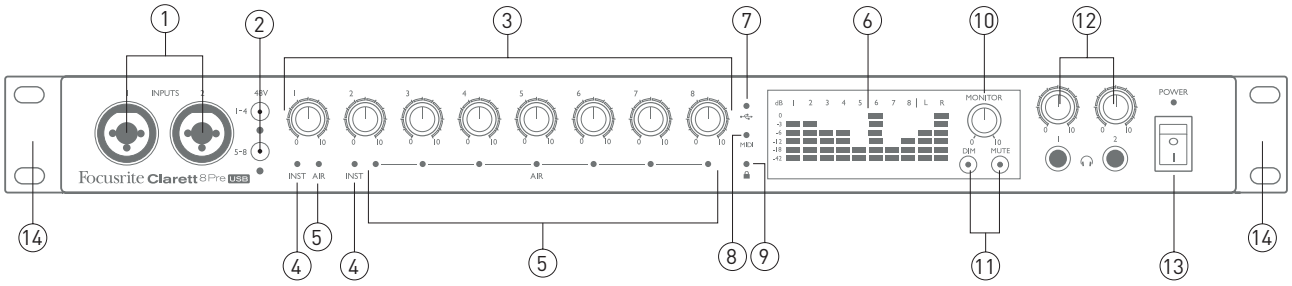
5. インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。

6. 再起動後、Clarett 8Pre USB を USB ケーブルでコンピュータに接続します。

7. 使用を始める際に不明な点がある場合は、こちらの動画ガイドをご覧ください。
   www.focusrite.com/get-started/clarett-8preUSB

各部の名称と特徴

フロントパネル



フロントパネルには、すべての入力ゲインとモニタリングコントロールに加えてマイク、ラインおよびインストゥルメント用の 2 つの入力コネクタが備わっています。

1. **INPUT 1** & **2** – コンボ XLR 入力ソケット - 必要に応じて XLR または 1/4 インチジャックでマイク、楽器（ギターなど）またはラインレベル信号を接続します。楽器またはラインレベル信号には、TRS（バランス）または TS（アンバランス）ジャックプラグのどちらか一方を使用することができます。

2. **48V** – コンボコネクタの XLR 接触部にファンタム電源入力を有効にする 2 つのスイッチ。マイク入力 1-4 および 5-8 に対して独立して適用できます（入力 3-8 はリアパネルに備わっています）。各スイッチには赤い LED が備わっており、ファンタム電源が選択されていることを示します。ファンタム電源はコンデンサーとアクティブリボンマイクにのみ使用されるためご注意ください。ダイナミックマイク使用時には、*ファンタム電源を選択しないで下さい。*

3. ゲイン **1** - **8** – 8 つのロータリーコントロールで Input 1-8 の信号の入力ゲインをそれぞれ調整します。

4. **INST** – Focusrite Control ソフトウェアによって、Input 1 または 2 のジャック部分が INST モードに選択されている際に、赤色の LED が点灯します。INST が選択されると、ゲインレンジと入力インピーダンスが変更され（ライン入力に対して）、入力がアンバランスになります。これにより、2 極（TS）ジャックプラグを使用して楽器を直接接続できるように最適化が行われます。INST がオフの場合、入力部はラインレベル信号の接続に適しています。ラインレベルの信号は、3 極（TRS）ジャックによるバランス入力、または 2 極（TS）ジャックによるアンバランス入力のいずれかで接続することができます。

5. **AIR** – Focusrite Control からの各入力に対して'AIR' 機能が選択された際に黄色の LED が点灯します。'AIR'では、入力部の周波数特性を変化させることによって、伝統的なトランスベースの Focusrite ISA マイクプリアンプをモデリングします。

6. Meters – 6 段階の LED バーグラフメーターで、a) 8 つのアナログ入力信号レベル（メーター **1** ～ **8**）、b) **MONITOR 1** および **2** 出力での信号レベル（メーター **L** および **R**）を示します。入力メーターでは、入力ゲインステージの後の段階の信号レベルが示されるため、これらの表示はゲインコントロールによって変化します。出力メーターでは、モニターレベルコントロール [10] の前の段階の信号レベルが示されるため、表示は変化しません。LED は、-42（緑、信号ありの状態）、-18 および -12dBFS（緑）、-6 および -3dBFS（黄）、0dBFS（赤）といった形で点灯します。0dBFS のレベルはデジタルクリッピングの可能性を示すため、この状態にならないよう常に気をつけておく必要があります。

7. （USB が有効）– 本体がホストコンピュータとの通信を確立した際に緑色の LED が点灯します。

8. **MIDI** – リアパネルの MIDI IN ポートに MIDI データを受信している場合に緑色の LED が点灯します。

9. 🔒（ロック）– Clarett 8Pre USB の内部クロックまたは外部デジタル入力のいずれかに対するクロック同期を示す緑色の LED。

10. **MONITOR** – メインモニター出力レベルコントロール – このコントロールは通常リアパネルのメインモニター出力のレベルを制御しますが、Focusrite Control で構成することで、複数の出力ペアのレベルを調整することが可能です。

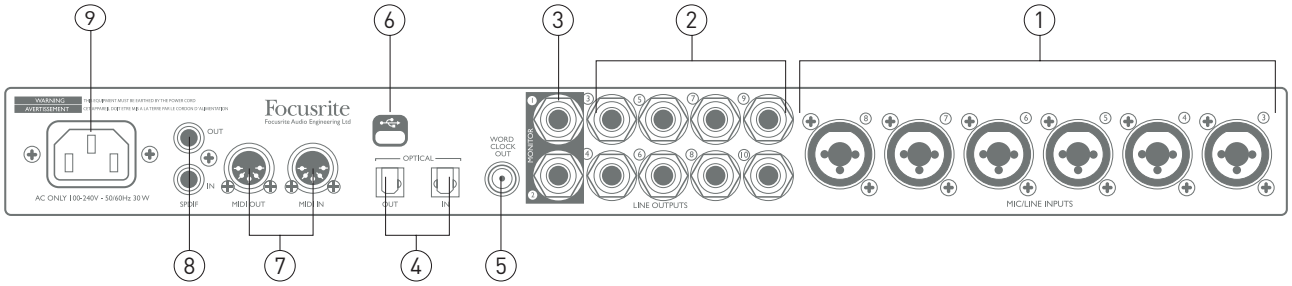
11. **DIM** および **MUTE** – Clarett 8Pre USB のモニター出力を制御する 2 つのスイッチ。**DIM** は 18dBずつ出力レベルを下げるのに対し、**MUTE** では出力をオフにします。デフォルトでは、これらのスイッチはメインモニター出力 1 と 2 に影響を与えますが、アナログ出力のいずれにでも作用するよう Focusrite Control で設定が可能です。この機能が選択されると、それぞれのスイッチが内部で点灯します（DIM：黄色、MUTE：赤色）。

12. 🎧（ヘッドフォン）**1** と **2** – 1 つまたは 2 つのステレオヘッドフォンをコントロールの下の 2 つの 1/4 インチ TRS ジャックソケットに接続します。ヘッドフォン出力は常に Focusrite Control でアナログ出力 7/8 および 9/10 に（ステレオペアとして）現在ルーティングされている信号を伝送します。

13. **POWER** – AC 電源スイッチおよびオンを示す LED。

14. 標準 19 インチのラックに Clarett 8Pre USB を取り付けるためのラックイヤー。

リアパネル



1. **MIC/LINE INPUT 3 - 8** – コンボ XLR 入力ソケット - 必要に応じて XLR または 1/4 インチジャックで追加のマイクまたはラインレベル信号を接続します。ラインレベル信号には 1/4 インチ TRS（バランス）または TS（アンバランス）ジャックプラグを使用できます。

2. **LINE OUTPUTS 3 - 10** – 1/4 インチ（6.35mm）ジャックソケットの 8 つのバランスアナログライン出力。バランス接続には TRS ジャック、アンバランス接続には TS ジャックを使用します。これらの出力にルーティングされる信号は Focusrite Control で定義され、一般的にはミッドフィールド、ニアフィールドなどのスピーカー、マルチチャンネルモニタリングシステム用の追加スピーカー、またはアウトボード FX プロセッサーにオーディオを送るために使用できます。

3. **MONITOR 1** および **2** – 1/4 インチジャックソケット上の 2 つのバランスアナログライン出力。バランス接続には TRS ジャック、アンバランス接続には TS ジャックを使用します。これらは LINE OUTPUT 1 および 2 を担い、モニタリングシステムにおけるメインの L/R スピーカーを駆動するために使用されます。出力部への信号のルーティングは Focusrite Control でカスタマイズが可能です。

4. **OPTICAL IN** および **OUT** – 44.1/48kHz サンプルレートのデジタルオーディオのチャンネルを 8 つ、88.2/96kHz では 4 つの伝送を ADAT フォーマットで実現する TOSLINK コネクタ。Clarett 8Pre USB へ/からの追加の入出力として機能します。**OPTICAL IN** コネクタを代わりに使用して、オプティカル S/PDIF 出力を搭載した外部ソースから 2 つのチャンネルの S/PDIF 信号を受け取ることも可能です。Focusrite Control で選択します。

5. **WORD CLOCK OUTPUT** – Clarett 8Pre USB のワードクロックを伝送する BNC コネクタ。レコーディングシステムの一部を形成するその他のデジタルオーディオ機器と同期するために使用します。Clarett 8Pre USB が使用するサンプルクロックの同期先は、Focusrite Control から選択されます。

6. ⭠ – USB コネクタ。適切な USB ケーブルで Clarett 8Pre USB をコンピュータに接続します。

7. **MIDI IN** および **MIDI OUT** – 外部 MIDI 機器を接続するための標準 5 ピン DIN ソケット。コンピュータから/へ MIDI データを伝送し、追加の MIDI デバイスに分配することができます。

8. **SPDIF IN** および **OUT** – 2チャンネルのデジタルオーディオ信号を S/PDIF 形式で Clarett 8Pre USB から/へ伝送する 2 つのフォノ（RCA）ソケット。他の全ての入出力と同様に、S/PDIF 信号のルーティングは Focusrite Control でカスタマイズが可能です。

9. AC 電源 – IEC 規格コンセント。Clarett 8Pre USB には広く使用していただける電源が備わっており、100V ～ 240V、50Hzまたは 60Hzのいかなる AC 電源の電圧にも対応しています。

Clarett 8Pre USB を接続する

> **重要：**Clarett 8Pre USB をコンピュータに接続する前に、ページ 6 の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了してください。これによりハードウェアが正しいドライバを使用し、予期せぬ動作を防止することができます。

Clarett 8Pre USB は、付属の AC 電源ケーブルで AC 電源に接続する必要があります。IEC コネクタをリアパネルの IEC コンセントに差し込み、フロントパネルの電源スイッチで本体の電源を入れます。

Clarett 8Pre USB には USB ポートが備わっています（リアパネル）。ソフトウェアのインストールが完了したら、USB ケーブルを使用して Clarett 8Pre USB をコンピュータに接続します。

コンピュータのオーディオセットアップ

Clarett 8Pre USB をコンピュータに初めて接続する際には、オーディオ入力/出力機器として Clarett 8Pre USB を選択する必要があります。

- Mac OS：**システム環境設定** > **サウンド**で Focusrite デバイスを**入力**および**出力**の両方で選択します。
- Windows：**コントロールパネル** > **サウンド**で Focusrite デバイスを右クリックし、**「既定のデバイスとして設定」**を**録音**および**再生**タブの両方で選択します。

手順がわかりにくい場合、以下のページで全てのオペレーティングシステムで Clarett 8Pre USB をオーディオ機器として選択する方法の詳細が記されています：www.focusrite.com/get-started/clarett-8PreUSB

これにより、OS が自動的に Clarett 8Pre USB をデフォルトのオーディオ機器として選択します。

DAW でのオーディオセットアップ

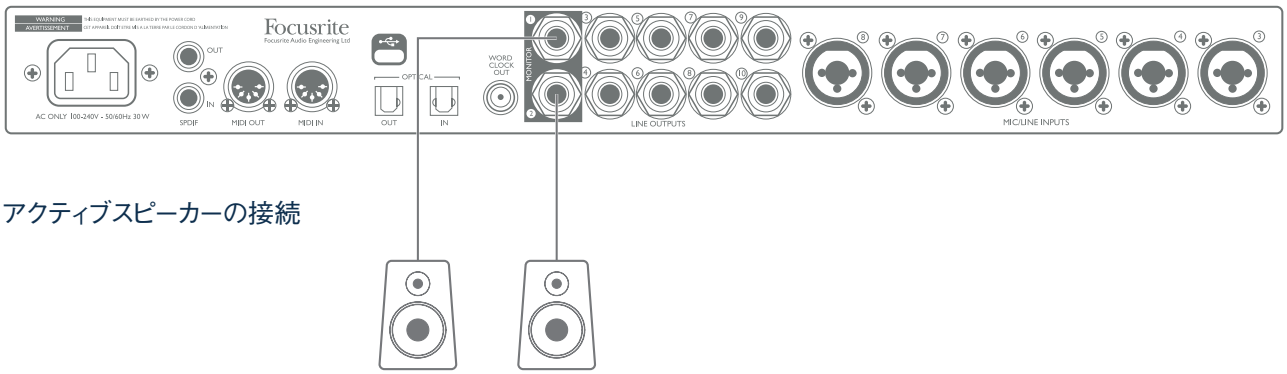
ドライバをインストールして本体を接続したら、DAW と一緒に Clarett 8Pre USB を使用することができます。

注意 - DAW が Clarett 8Pre USB をデフォルトの I/O デバイスとして自動的に選択しない場合があります。この場合、DAW の**オーディオ環境設定***ページから手動でドライバを選択する必要があります。そして、**Focusrite 8Pre USB**（Mac）または **Focusrite USB ASIO**（Windows）を選択します。オーディオデバイスとして Clarett 8Pre USB を選択する場所が不明な場合は、DAW のマニュアル（またはヘルプファイル）を参照してください。

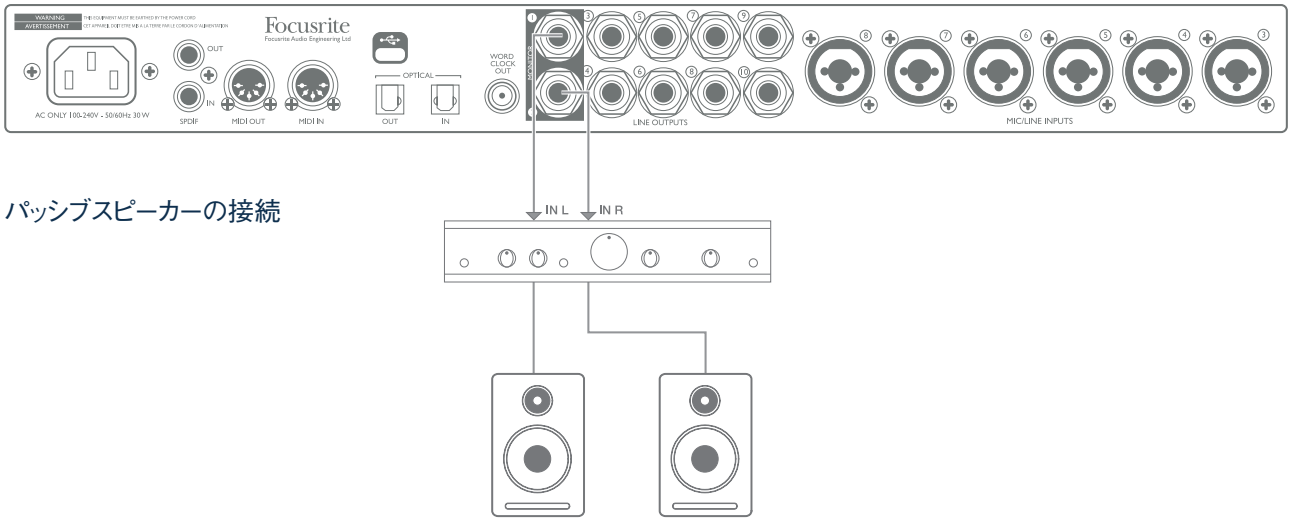
*一般的な呼称 - 名称は DAW によって異なる場合があります

Clarett 8Pre USB をラウドスピーカーに接続する

リアパネルの 1/4 インチジャック **MONITOR** 出力（LINE OUTPUTS 1 および 2）は、通常モニタリングスピーカーの駆動に使用されます。アンプ内蔵型モニター（コンピュータに内蔵されているスピーカーなど）では、内部にアンプが組み込まれているため直接接続することができます。パッシブラウドスピーカーには別途ステレオアンプが必要です。この場合、リアパネルの出力部とアンプの入力部を接続する必要があります。



アクティブスピーカーの接続

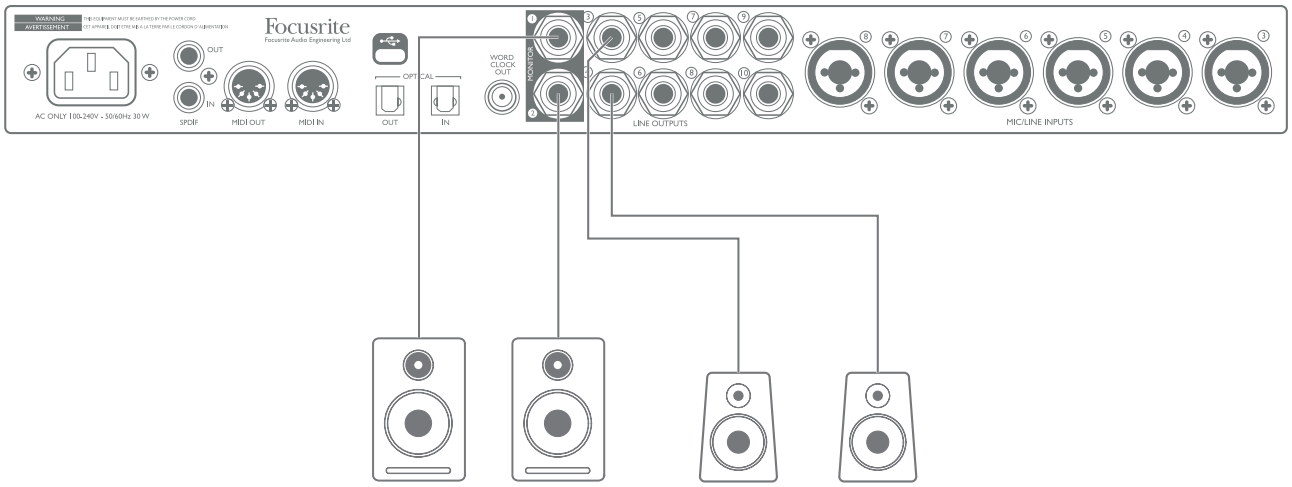


パッシブスピーカーの接続

全てのライン出力コネクタは、3 極（TRS）1/4 インチジャックソケットであり、バランス接続です。一般的な家庭用（Hi-Fi）アンプと小型パワードモニターには、フォノ（RCA）ソケットまたはコンピュータに直接接続するための 3.5mm 3 極ジャックプラグ経由のいずれかにアンバランス入力が備わっています。いずれの場合も、一端にジャックプラグの付いた適切な接続ケーブルを使用します。

プロフェッショナル用パワーアンプは一般的にバランス入力を備えています。

ミキシングを行う際に、複数のスピーカーのペア（ミッドフィールド、ニアフィールドなど）を出力のペアに接続し、Focusrite Control を使用してミックスを別々の出力にルーティングして、異なるスピーカーからミックスをチェックすることも可能です。



重要：

MONITOR 出力 1 および **2** にはスピーカーを保護するための回路が備わっており、スピーカー（およびアンプ）が接続されアクティブな状態で Clarett 8Pre USB の電源が入れられた場合にも損傷を防ぎます。

LINE OUTPUTS 3 - 10 にはこの回路が備わっていません。

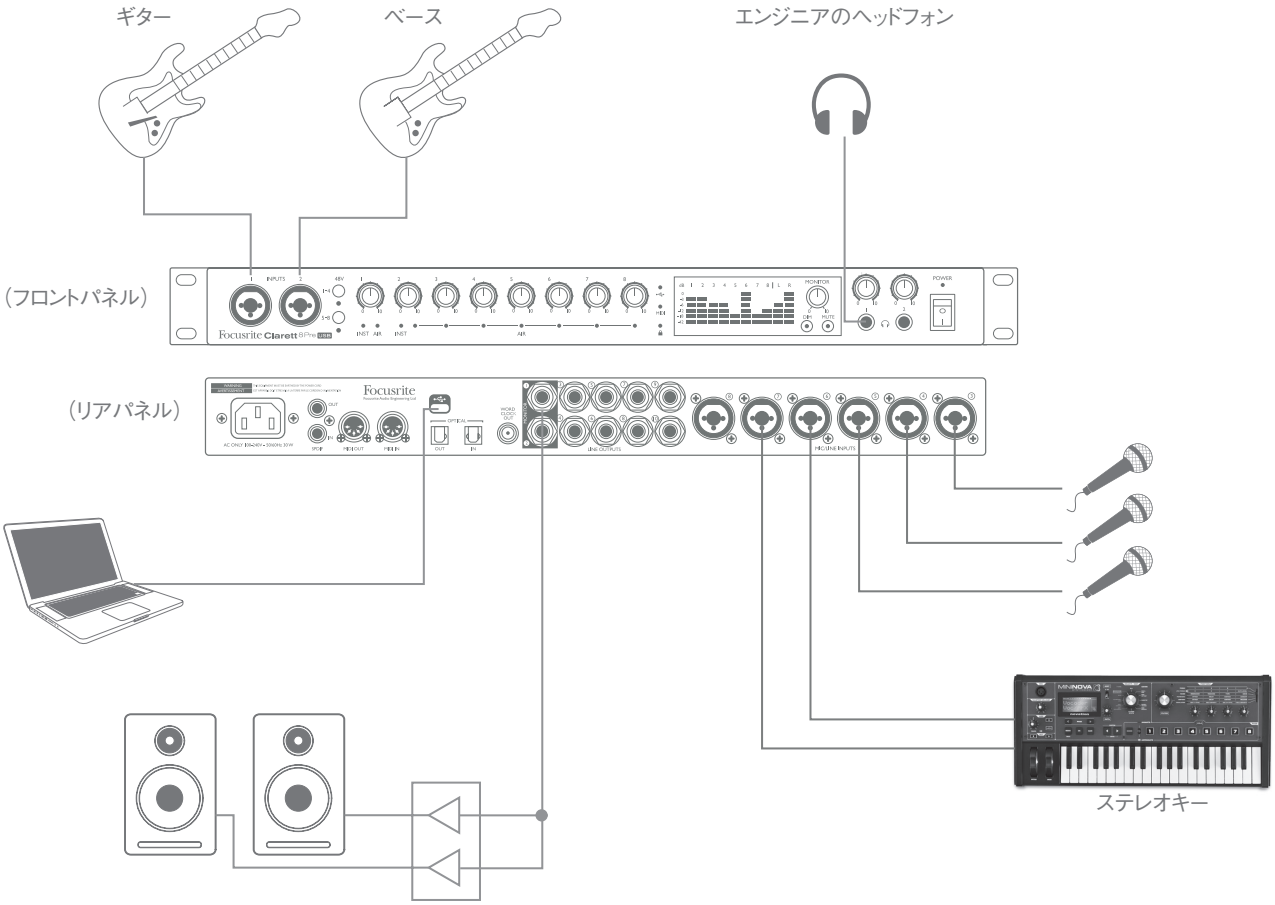
これらの出力に追加のスピーカーを接続して使用している場合、まず Clarett 8Pre USB の電源を入れ、その後スピーカーもしくはパワーアンプの電源を入れることを推奨します。

いかなる場合にも、オーディオを供給する機器をオンにした後でスピーカーシステムの電源を入れる手順を守ると良いでしょう。

使用例

Clarett 8Pre USB は、多くのレコーディングおよびモニタリングアプリケーションにとって優れた選択肢となります。一般的な構成例をいくつか以下に示します。

1. バンドのレコーディング



このセットアップでは、Mac で DAW ソフトウェアを使用して行うマルチトラックレコーディングの一般的な構成を示しています。

ソースの選択 - 上図では、マイクとギター、そしてキーボードが Clarett 8Pre USB の入力部に接続されています。注意: Input 1 と 2 のみが直接楽器を接続できるよう設定が可能です。この例では、ギターを Input 1 と 2 に接続しています。Focusrite Control で Input 1 と 2 を INST モードに設定し、INST LED が点灯していることを確認してください。

DAW ソフトウェアを実行している Mac には、USB ケーブルを使用して本体が接続されています。これにより、DAW と Clarett 8Pre USB 間で全ての入出力信号が伝送されます。DAW 上でオーディオセットアップが正しく構成されると、各入力元は DAW のそれぞれのレコーディングトラックに自動的にルーティングされます。

レイテンシーについて

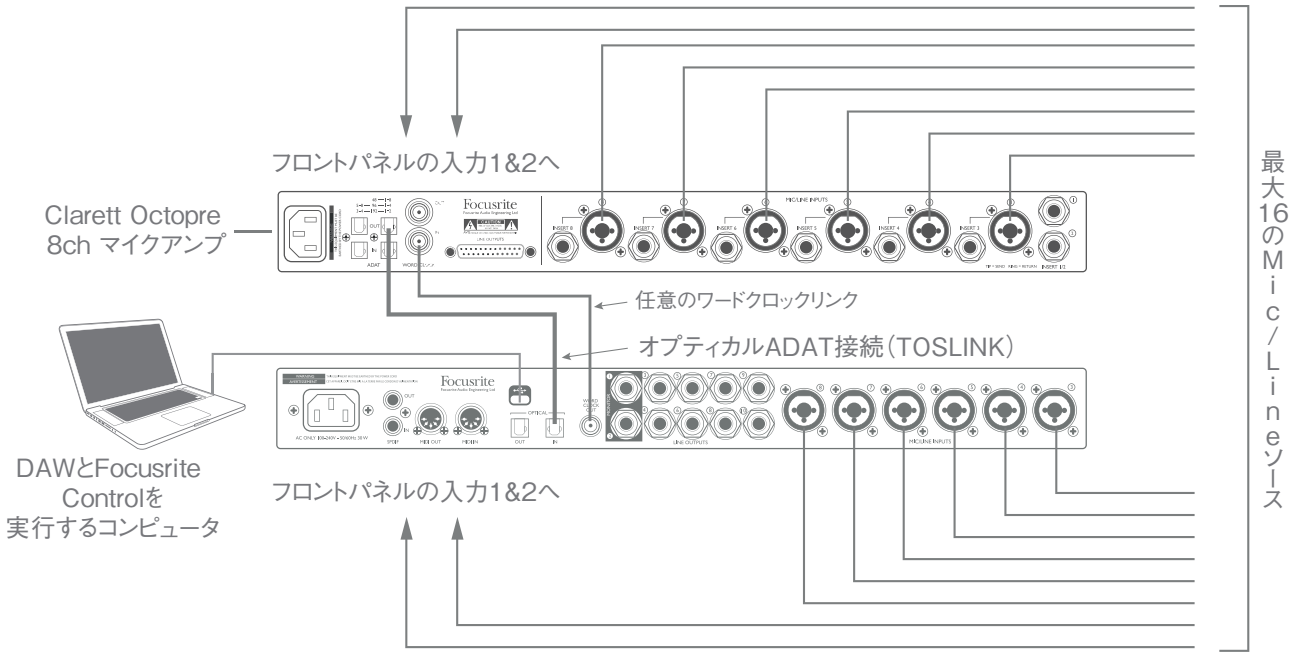
デジタルオーディオシステムに関連して「レイテンシー」という用語を聞くことがよくあるかと思います。上記のような DAW レコーディングアプリケーションの場合、レイテンシーとは、お使いのコンピュータおよびオーディオソフトウェアを入力信号が通過し戻ってくるまでにかかる時間です。レイテンシーは、シンプルな構成のレコーディング環境では問題になりませんが、特定の状況では入力信号をモニタリングしながらレコーディングを行いたい演奏者にとって障害となる可能性があります。これは、お使いの DAW レコーディングバッファのサイズを増やす必要がある場合に当てはまることがあり、多数の DAW トラック、ソフトウェア楽器、FX プラグインを使用して大きいサイズのプロジェクトでオーバーダブを行う際に必要となる場合があります。バッファの設定が低すぎる場合、オーディオのグリッチング（クリックやポップ）、またはお使いの DAW（多くの DAW では現状の CPU の使用量が表示されます）で CPU に異常な負荷がかかってしまうことが多々あります。こうした現象が Mac で見られる場合、DAW アプリケーション自体でバッファサイズを上げることができますが、Windows ではほとんどの場合この変更は **ASIO コントロールパネル**から行う必要があります。これには、通常 DAW の**セットアップ環境設定***よりアクセスが可能です。

Clarett 8Pre USB を Focusrite Control と一緒に使用すれば、ゼロレイテンシーでのモニタリングが可能となり、この問題を解決できます。これにより、Clarett 8Pre USB のヘッドフォン出力やモニター出力、ライン出力に入力信号を直接ルーティングすることができます。非常に大きな DAW バッファサイズであっても演奏者はコンピュータの再生と一緒に、ゼロレイテンシー、つまり「リアルタイム」で効果的に自身の音声を聞くことができます。コンピュータへの入力信号は、この設定によっていかなる影響も受けません。ただしこの場合、ソフトウェアプラグインを通してライブの楽器に追加されている最中のエフェクトは、録音されてもヘッドフォンでは聞くことができなくなりますのでご注意ください。

*一般的な呼称 - 名称は DAW によって異なる場合があります

2. オプティカル接続の使用

8 つのアナログ入力に加え、Clarett 8Pre USB には ADAT 入力ポート（**OPTICAL IN**）が搭載されています。これにより、44.1/48kHzのサンプルレートで 8 つのオーディオ入力を、88.2/96kHzで 4 つのオーディオ入力を追加することができます。Focusrite Clarett OctoPre などの ADAT 出力を搭載した 8 チャンネルマイクプリアンプを別途使用することで、Clarett 8Pre USB の入力機能を簡単に拡張することができます。



1 本の TOSLINK オプティカルケーブルを使用して、Clarett OctoPre の **OPTICAL OUT** ポートが Clarett 8Pre USB の **OPTICAL IN** ポートに接続されています。Clarett 8Pre USB の **WORD CLOCK** 出力を Clarett OctoPre の **WORD CLOCK IN** に接続し、それを同期ソースとして使用するよう Clarett OctoPre を設定することで、安定したワードクロック同期を実現できます。あるいは、Clarett 8Pre USB の **OPTICAL IN** ポートで ADAT フォーマット信号を元に同期を行うよう（Focusrite Control 内で）設定することも可能です。

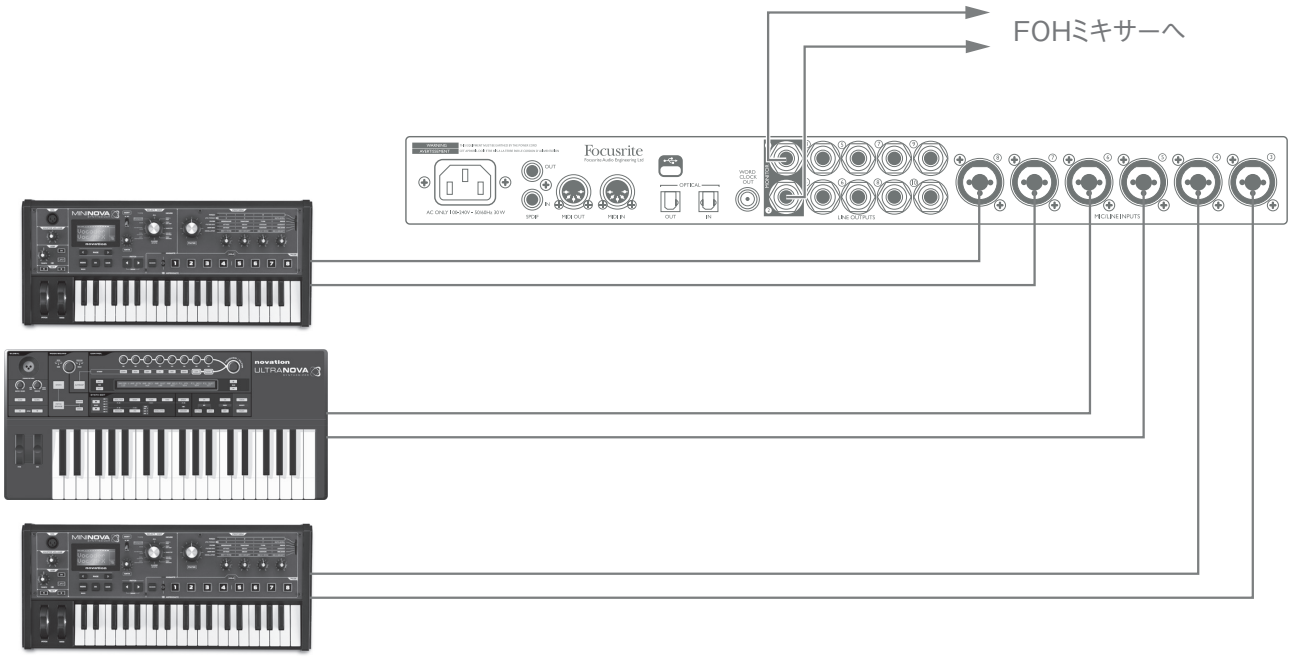
注意：2 つのデジタル機器を相互接続する際は、いかなる場合にも必ずこれら両方の機器を同一のサンプルレートに設定してください。

オプティカルポートの使用によって追加された入力は、Focusrite Control を使用することで、その他の入力と全く同じ方法でルーティングを行うことが可能です。必要に応じて、追加された入力をミュージシャンのヘッドフォンミックスに加えることができます。

ADAT 入力に適した D/A コンバーターが使用できる場合、**OPTICAL OUT** ポートは、逆の方法で使用できます。例えば、DAW からの追加の出力を外部のミキシングコンソールに使用してアナログに変換することで多数の DAW トラックをミックスダウンできるようになります。

3. スタンドアローンのミキサーとしての使用

Clarett 8Pre USB には、Focusrite Control で設定したミックスの構成を本体に保存できる機能が備わっています。例えば、コンピュータを使用してステージ上のキーボードのミキサーとして設定し、その設定を本体にアップロードするといったことが可能です。キーボード装置の一部を構成するシンプルなラックマウントミキサーとして Clarett 8Pre USB を使用し、複数のキーボードの全体的なミックスを制御することができます。



ここで示されている例では、3 つのステレオキーボードが Clarett 8Pre USB のリアパネルの入力部に接続され、Output 3 および 4 はメインの PA システムに接続されています。演奏者は、フロントパネルからそれぞれのキーボードのボリュームを調整したり、スピーカーを通してキーボードミックスのレベルを調整することも可能です。

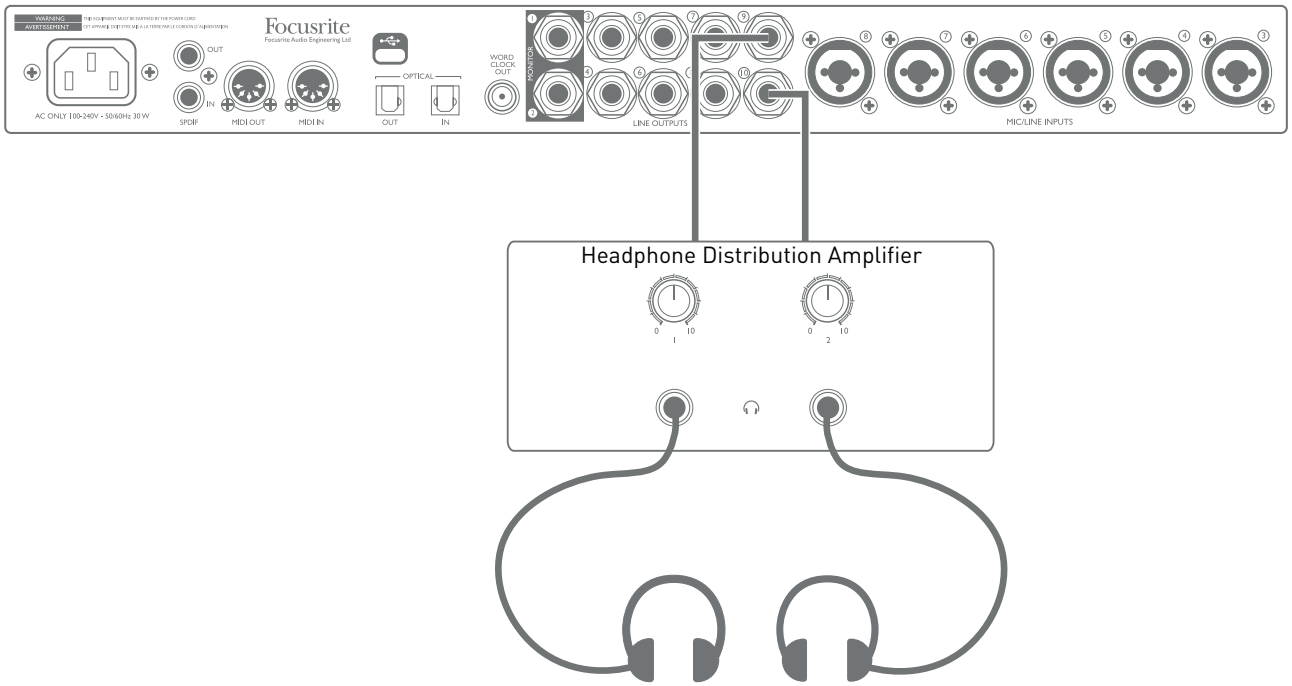
4. レコーディング中にフォールドバックを行う

多くの場合、他の演奏者の演奏を聴きながら自身の演奏を行ったり、オーバーダビングを行う場合には、既に録音されているトラックを同時に聞ける環境が必要となってきます。このような目的のために作成されるミックスはフォールドバックと呼ばれ、ヘッドフォンでこれを確認しながら演奏を行うことができます。

Focusrite Control では、モノラル/ステレオなど様々なミックスを構成することができ、Clarett 8Pre USB のいずれかの出力にルーティングされます。これにより、各演奏者が自身の必要とする構成のフォールドバックミックスを聞くことができます。各フォールドバックフィードは、演奏者自身が使用している入力や、他の演奏者がリアルタイムに演奏しているもの、そして既に録音されている DAW トラックなどを組み合わせて様々な形で構成することができます。ミックスの構成や、それらの Claret 8Pre USB 出力部へのルーティング方法については、Focusrite Control ユーザーガイドを参照してください。

フロントパネルの 2 つのヘッドフォン出力はデフォルトミックスを生成します。ヘッドフォン 1 では LINE OUTPUT 7 および 8 にルーティングされるものと同じステレオミックスが供給されますが、ヘッドフォン 2 ではヘッドフォンモニタリング専用のミックスを独立して供給します。Focusrite Control では両方のミックス構成を設定でき、Output 7/8 ではヘッドフォン 1 から供給されるものを、Output 9/10（対応するリアパネルのソケットはありません）ではヘッドフォン 2 から供給されるものを設定します。

これらのいずれかまたは両方をフォールドバックミックスに使用することができ、各出力でそれぞれ 1 つのヘッドフォンを直接使用することができます。これは最も簡単な方法であり、ステレオミックスを行える利点があります。追加のヘッドフォンを使用する必要がある場合は、セットアップに外付けヘッドフォンアンプを追加する必要があります。



入力信号からのモニターミックスを聞く場合には、録音を行っている DAW チャンネルがミュートされていることを確認してください。そうでない場合、一つの信号がエコーとして遅れて聞こえてしまうため、演奏者には自身の音声が二度聞こえてしまいます。

FOCUSRITE CONTROL - 概要

Focusrite Control は Clarett 8Pre USB と一緒に使用するソフトウェアアプリケーションであり、 各演奏者のためにカスタムモニターミックスを作成したり、全てのオーディオ信号を本体のオーディオ出力部にルーティングすることができます。サンプルレート選択、デジタル同期、バッファサイズ設定（Windows のみ）を Focusrite Control で行うことが可能です。

注記：Focusrite Control は Focusrite 製品ラインナップのその他のハードウェアインターフェースにも対応しています。 Clarett 8Pre USB をコンピュータに接続し、Focusrite Control を起動すると、インターフェースのモデルが自動的に検出され、使用しているハードウェアに適合するようソフトウェアが正しく構成されます。

Focusrite Control には専用のユーザーガイドが用意されており、ソフトウェアの全ての側面に関する詳細な操作手順が記載されています。 www.focusrite/downloads よりダウンロードが可能です。

Clarett 8Pre USB 技術仕様

性能仕様

構成	
入力	18：アナログ（8）、S/PDIF（2）、ADAT（8）
出力	8：アナログ（4）、S/PDIF（2）、HP（2）
ミキサー	完全に割り当て可能な 26 イン/10 アウトミキサー
デジタル性能	
対応サンプルレート	44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz
マイク入力	
周波数特性	20Hz ～ 35kHz +/-0.5dB（最小ゲイン）
ダイナミックレンジ	118dB
THD+N	<0.001%
ノイズ EIN	<–129dBu（A特性）
最大入力レベル	+18dBu（最小ゲイン）
ゲインレンジ	57dB
ライン入力	
周波数特性	20Hz ～ 35kHz +/-0.5dB（最小ゲイン）
ダイナミックレンジ	118dB
THD+N	0.001%
最大入力レベル	+26dBu（最小ゲイン）
ゲインレンジ	57dB
楽器入力	
周波数特性	20Hz ～ 35kHz +/-0.5dB（最小ゲイン）
ダイナミックレンジ	117dB
THD+N	0.001%
最大入力レベル	+14dBu（最小ゲイン）
ゲインレンジ	57dB
ラインおよびモニター出力	
ダイナミックレンジ	118dB
THD+N	0.0007%
最大出力レベル（0dBFS）	+18dBu（最小ゲイン）、バランスライン/TRS 出力
ヘッドフォン出力	
ダイナミックレンジ	115 dB（A 特性）
THD+N	0.0009%
最大出力レベル	+15dBu

物理的特性と電気的特性

アナログ入力 1 と 2	
コネクタ	コンボ XLR ソケット：フロントパネルの Mic/Line/Inst
マイク/ライン切替	自動
ライン/楽器切替	Focusrite Control 経由
ファンタム電源	入力 1 ～ 4、5 ～ 8 用の +48V スイッチ
アナログ入力 3 ～ 8	
コネクタ	コンボ XLR ソケット：リアパネルの Mic/Line
マイク/ライン切替	自動
ファンタム電源	入力 1 ～ 4、5 ～ 8 用の +48V スイッチ
アナログ出力	
メイン出力	10 x リアパネルのバランス 1/4 インチ TRS ジャック
ステレオヘッドフォン出力	2 x フロントパネルの 1/4 インチ TRS ジャック
メインモニター出力レベルコントロール	フロントパネル上
ヘッドフォンレベルコントロール	
その他の入出力	
ADAT 入力	2 x TOSLINK オプティカルコネクタ： 44.1/48kHz の場合 8 チャンネル 88.2/96kHz の場合 4 チャンネル 176.2/192kHz の場合 2 チャンネル
S/PDIF 入出力	2 つのフォノ（RCA）はソフトウェア上で ADAT ポートに再割り当て可能
データコネクタ（コンピュータ用）	1 x USB-C™ コネクタ
MIDI 入出力	2 x 5 ピン DIN ソケット
重量および寸法	
幅 x 奥行 x 高さ	482.5 mm x 43.9 mm x 291 mm / 19” x 1.73” x 11.46”
重量	4.08kg 9.00 ポンド

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関する質問がある場合は、次の Focusrite Answerbase のウェブサイトへアクセスしてください。
www.focusrite.com/answerbase このウェブページでは多数のトラブルシューティング例を紹介しています。

著作権表示と法定通知

Focusrite は登録商標であり、Clarett 8Pre USB は Focusrite Audio Engineering Limited の商標です。

その他全ての商標および商品名はそれらの個別の所有者の財産です。
2017 © Focusrite Audio Engineering Limited. All rights reserved.